

中医協「第132回総会」 医療費の伸び率は“自然増の範囲内”

2007年度の医療費の伸び率は、改定がなかった05年度と同じ3.1%だったことが、07年度医療費の動向でわかった。厚生労働省が7月16日の中医協・総会で報告した。



正面奥が公益委員、手前が専門委員、左側は診療側委員



新たに医療課長に就任した佐藤敏信氏

事務局も課長クラスの顔ぶれが一新した

厚労省によると、07年度の医療費は33.4兆円だった。前年度より約1兆円の増加で、伸び率に換算すると3.1%増になる。医療費の内訳は、医科の入院が13.4兆円（対前年度比2.8%増）、入院外が12.4兆円（同1.8%増）、調剤が5.2兆円（同8.9%増）。入院外と調剤を合わせた外来医療費としては17.5兆円（同3.8%増）に上り、医療費総額の52.4%を占める。

調剤電算分の医療費動向を初めて公表

また、調剤医療費については、レセプトの電算化率が医療費ベース、処方せん枚数ベースとも 80%を超え、処方せん 1 枚当たり調剤医療費の調剤レセプト全体と電算処理分との差が小さかったことから、電算処理したレセプト（処方せん枚数 5 億 7,089 万枚）を集計した調剤医療費の動向を初めて公表した。それによると、処方せん 1 枚当たり調剤医療費は 7,322 円で、このうち技術料が 1,924 円、薬剤料が 5,387 円などとなっている。

薬剤料のうち金額ベースで約 85%を占める内服薬は、長期投与が拡大している影響から投薬日数が増加傾向にあり、前年度に引き続き 3%台の増加となった。

内服薬 処方せん 1 枚当たり薬剤料の 3 要素分解

	実数			対前年度比 (%)	
	2005 年度	2006 年度	2007 年度	2006 年度	2007 年度
内服薬 1 枚当たり薬剤料(円)	4,296	4,243	4,571	1.2	7.7
処方せん 1 枚当たり薬剤延種類数	2.77	2.80	2.83	1.0	1.1
投薬日数(日)	16.7	17.3	17.9	3.2	3.5
1 日当たり薬剤料(円)	93	88	90	5.3	2.9

中医協資料をもとに作成

薬効分類別では、循環器官用薬（処方せん 1 枚当たり 1,360 円）や中枢神経系用薬（同 555 円）の薬剤料が高いが、これらの後発医薬品割合（薬剤料ベース）は 2~3%台と低かった。

内服薬 薬効分類別処方せん 1 枚当たり薬剤料と後発医薬品割合

	処方せん 1 枚当たり 薬剤料	後発医薬品割合 (薬剤料ベース)
内服薬 総数	4,571 円	5.5%
中枢神経系用薬	555 円	2.6%
循環器官用薬	1,360 円	3.4%
呼吸器官用薬	78 円	13.2%
消化器官用薬	487 円	8.5%
泌尿生殖器官および肛門用薬	125 円	4.9%
ビタミン剤	111 円	43.4%
滋養強壯剤	62 円	2.2%
血液・体液用薬	260 円	7.5%
その他の代謝性医薬品	471 円	5.7%
腫瘍用薬	233 円	1.3%
アレルギー用薬	324 円	3.6%
漢方製剤	93 円	-
抗生物質製剤	157 円	4.1%
化学療法剤	173 円	5.5%

中医協資料をもとに作成

地域連携パスの管理病院が 209 施設に拡大

同日の総会では、入院基本料など社会保険事務局に届出が必要な算定項目について、2007年7月1日現在の保険医療機関の届出状況を厚労省が報告した。それによると、病院は8986施設・156万3,065床、有床診療所は1万1,907施設・14万9,501床だった。このうち、一般病棟入院基本料を算定する病院は5,534施設(対前年比95施設減)71万5,413床(同1万6,153床減)療養病棟入院基本料を算定する病院は3,708施設(同33施設減)20万9,968床(同1万103床減)となった。

06年度改定で新設された「がん診療連携拠点病院加算」の届出医療機関数は、06年より167施設増の301施設となった。同加算は08年度改定で点数が400点に倍増されたことから、医療課では「08年はさらに増えるのではないか」と拡大を見込んでいる。そのほか、地域連携パスを評価するために06年度改定で新設された「地域連携診療計画管理料」(連携パスを管理する側の急性期病院)と「同退院時指導料」(連携先となる医療機関)は、管理病院が131施設増の209病院、連携医療機関が526施設増の748施設(604病院、144診療所)に拡大した。08年度改定では、点数は引き下げられたものの対象疾患に脳卒中が追加されたため、届出施設数は確実に増加するものと思われる。「回復期リハビリテーション病棟入院料」も124施設増(7,468床増)の794施設(4万3,525床)に達しており、要件緩和された08年度には更なる増加が確実視される。

主な施設基準の届出状況(2007年7月1日現在)

	2005年	2006年	2007年
一般病棟入院基本料	5,810施設 738,059床	5,629施設 731,566床	5,534施設 715,413床
療養病棟入院基本料	3,744施設 196,948床	3,741施設 220,071床	3,708施設 209,968床
有床診療所入院基本料	10,064施設 119,615床	8,703施設 107,310床	8,485施設 106,494床
有床診療所療養病床入院基本料	1,938施設 14,843床	1,670施設 13,103床	1,283施設 10,594床
がん診療連携拠点病院加算	-	134施設	301施設
脳卒中ケアユニット入院医療管理料	-	28施設 186床	49施設 289床
回復期リハビリテーション病棟入院料	574施設 30,409床	670施設 36,057床	794施設 43,525床
地域連携診療計画管理料	-	78病院	209病院
地域連携診療計画退院時指導料	-	164病院 58診療所	604病院 144診療所
在宅療養支援診療所	-	9,434施設	10,477施設

中医協資料をもとに作成